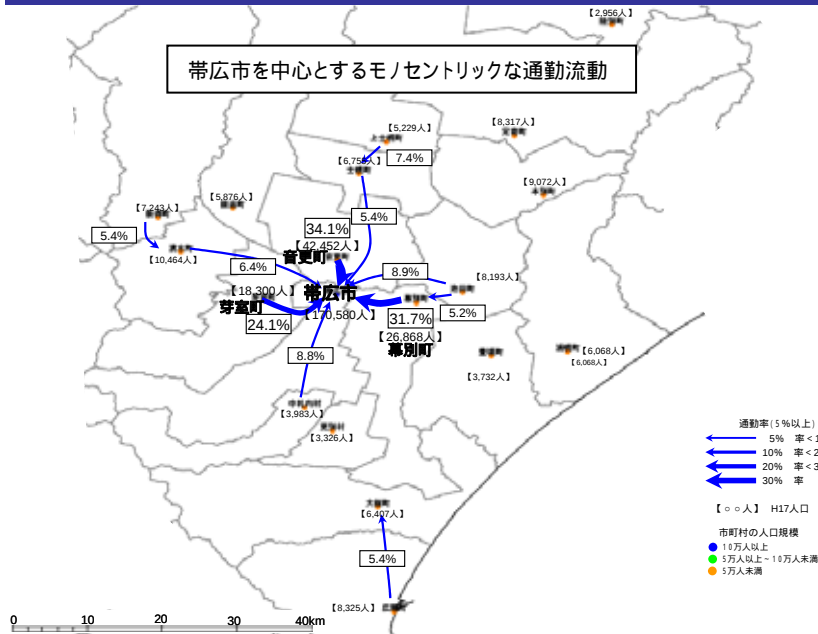


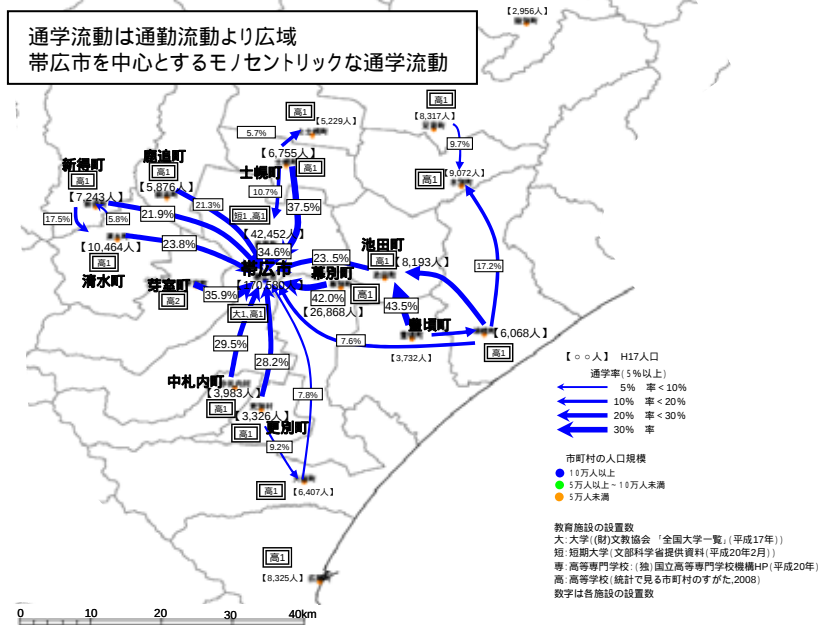
通勤流動

帯広市を中心とするモノセントリックな通勤流動

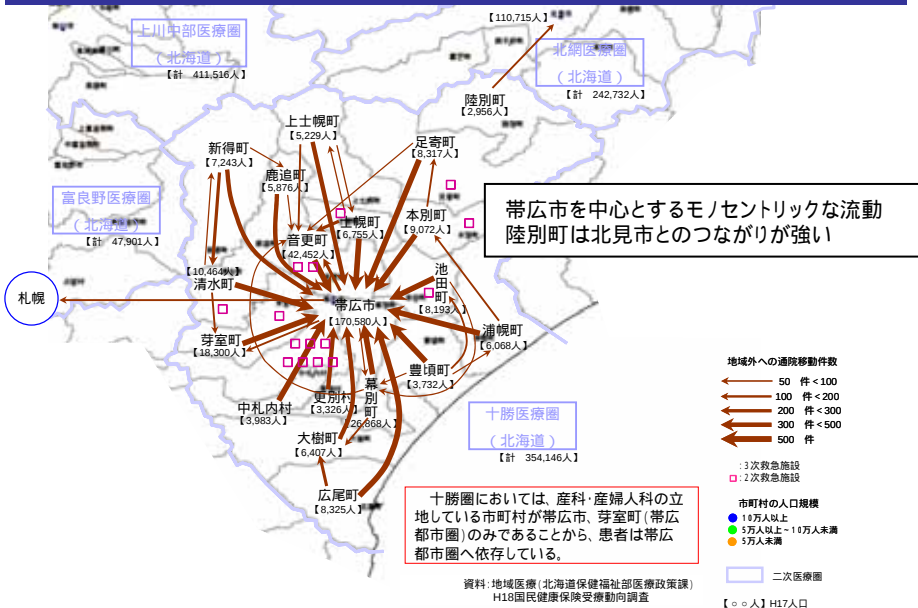


教育機関と通学流動

通学流動は通勤流動より広域
帯広市を中心とするモノセントリックな通学流動

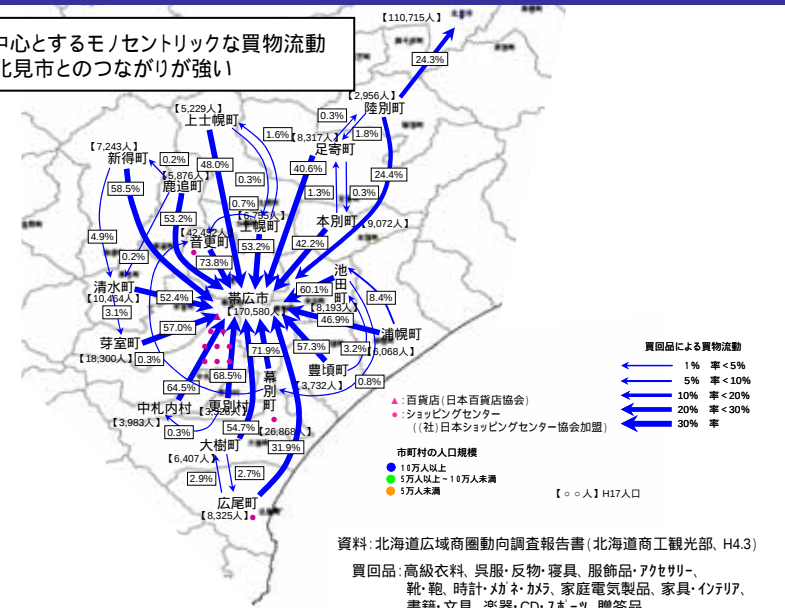


医療機関、医療圏と人の流動



商業施設と買物流動(買回品)

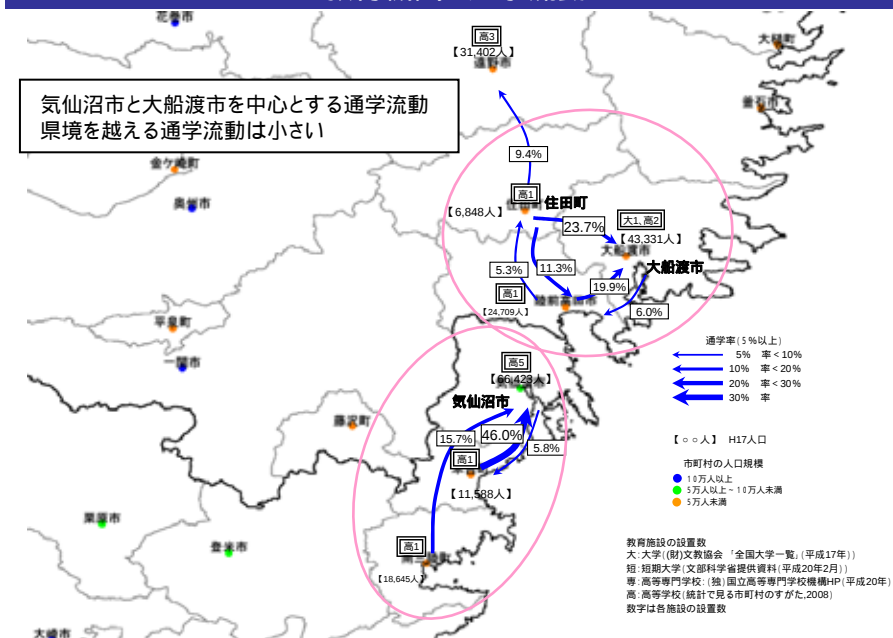
帯広市を中心とするモノセントリックな買物流動
陸別町は北見市とのつながりが強い



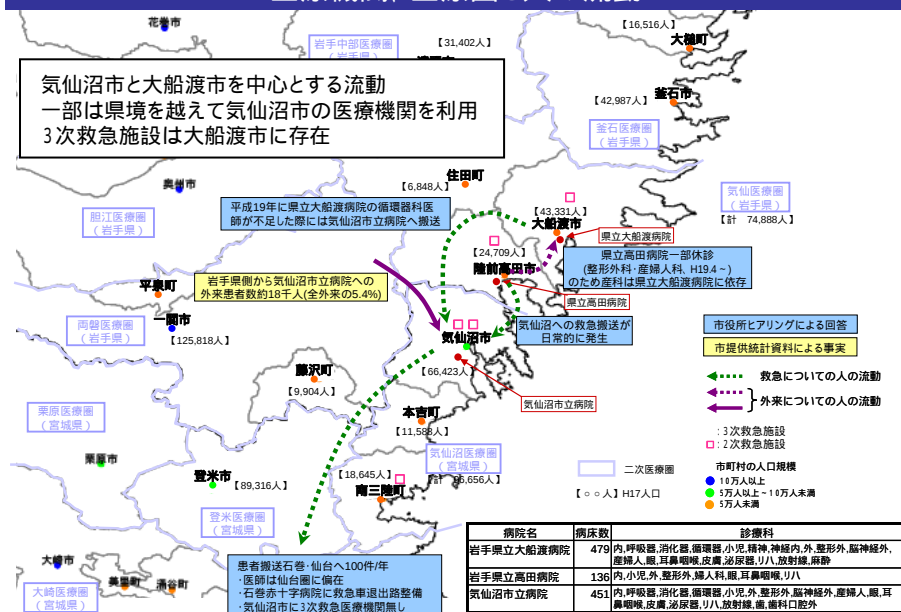
通勤流動



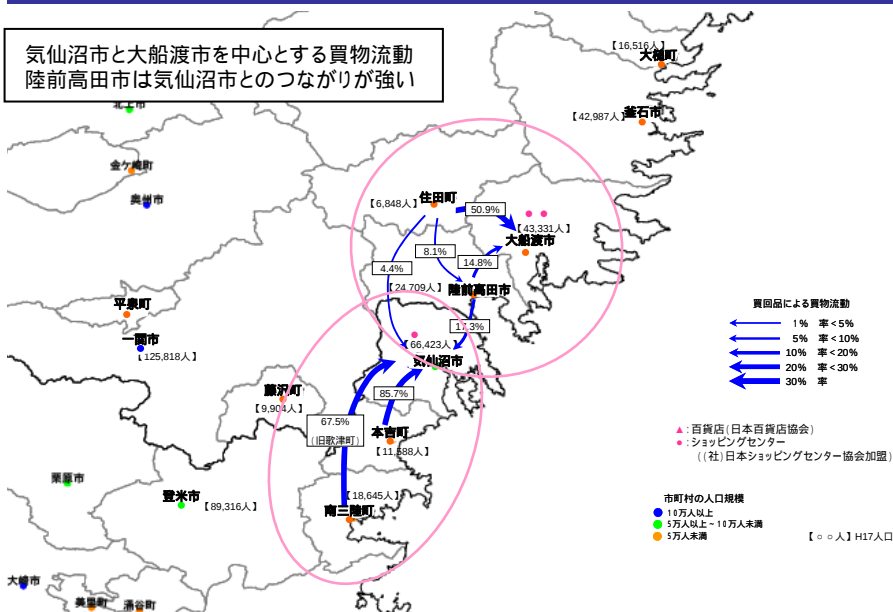
教育機関と通学流動



医療機関、医療圏と人の流動

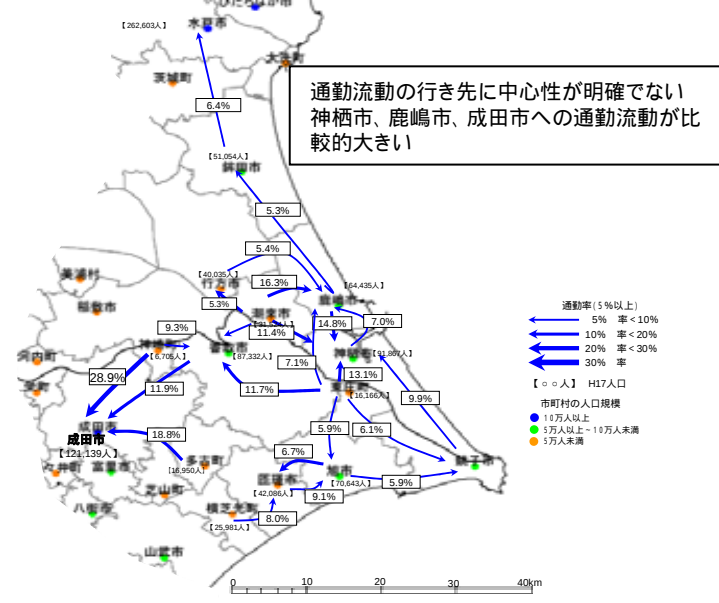


商業施設と買物流動(買回品)

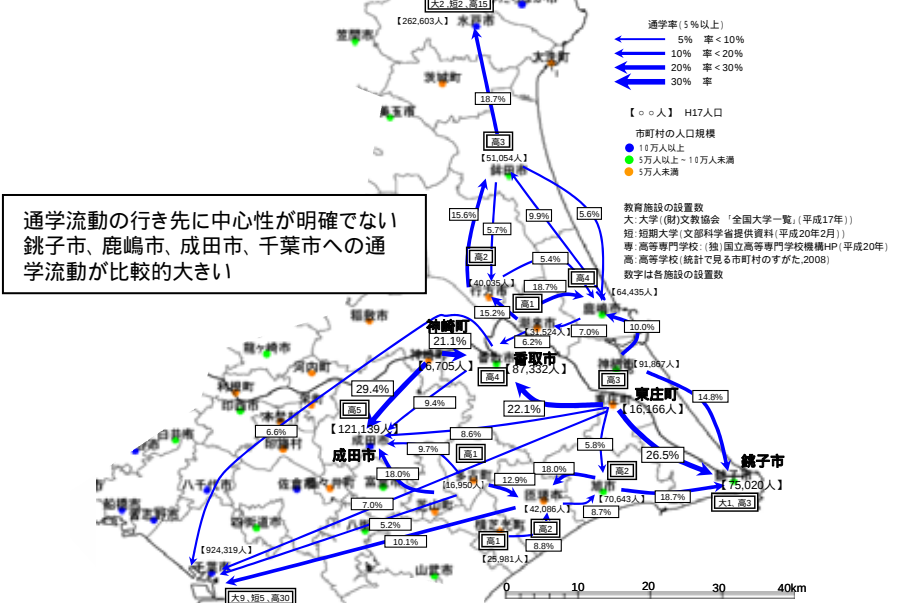


銚子地域の現況 ~ 中心性が明確でない地域 ~

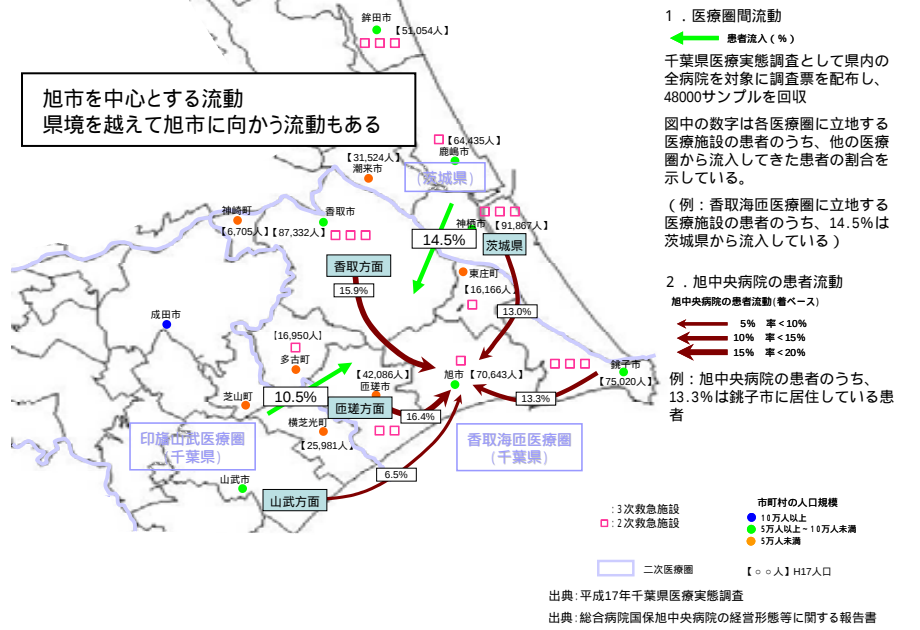
通勤流動



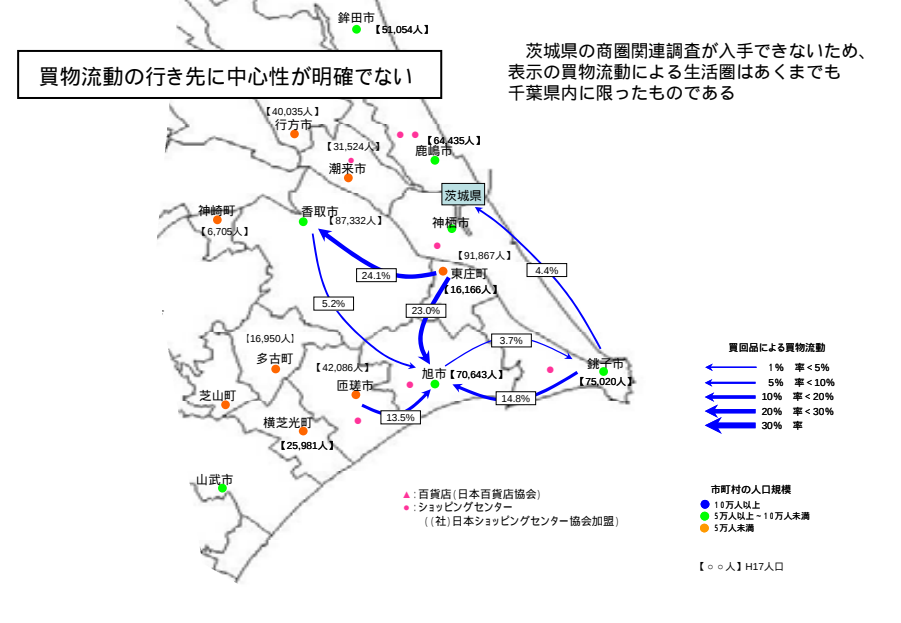
教育機関と通学流動



医療機関、医療圏と人の流動



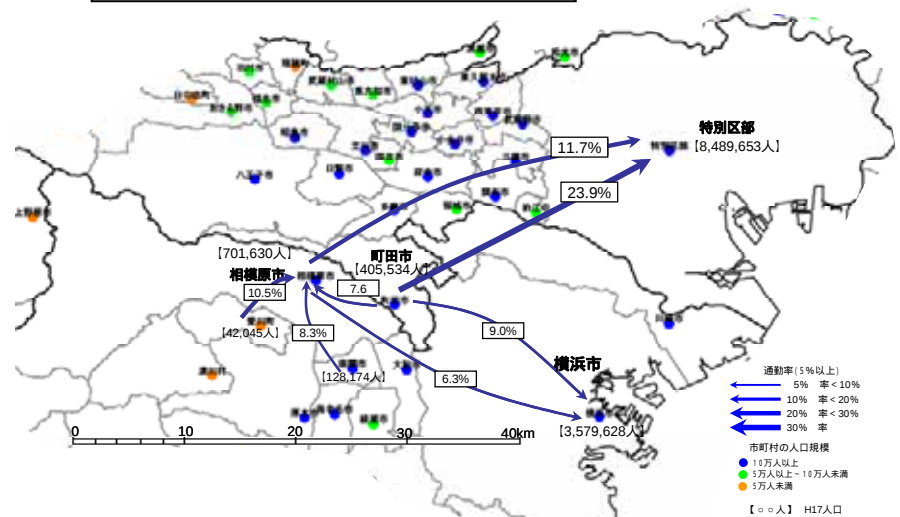
商業施設と買物流動(買回品)



相模原・町田地域の現況 ~ 都心周辺部において一定の中心性を有する地域 ~

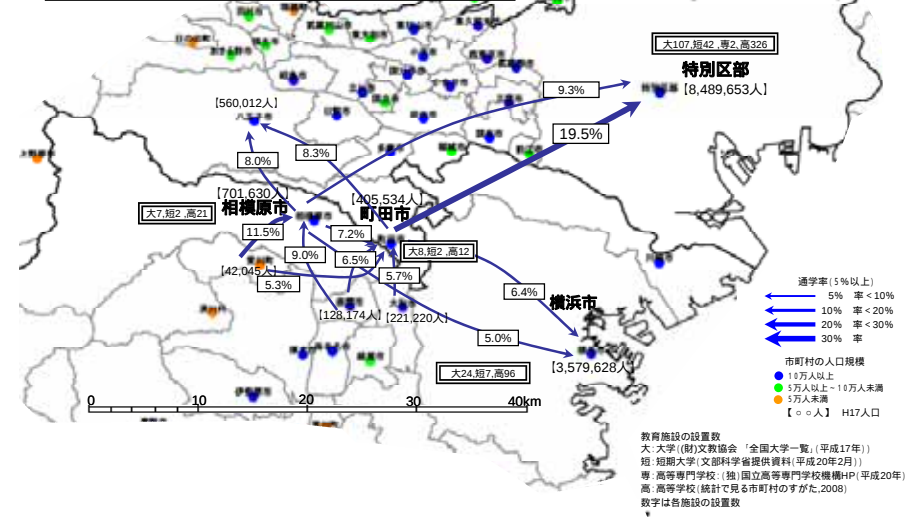
通勤流動

東京都特別区部と横浜市を中心とする通勤流動
相模原市を中心とする通勤流動もある

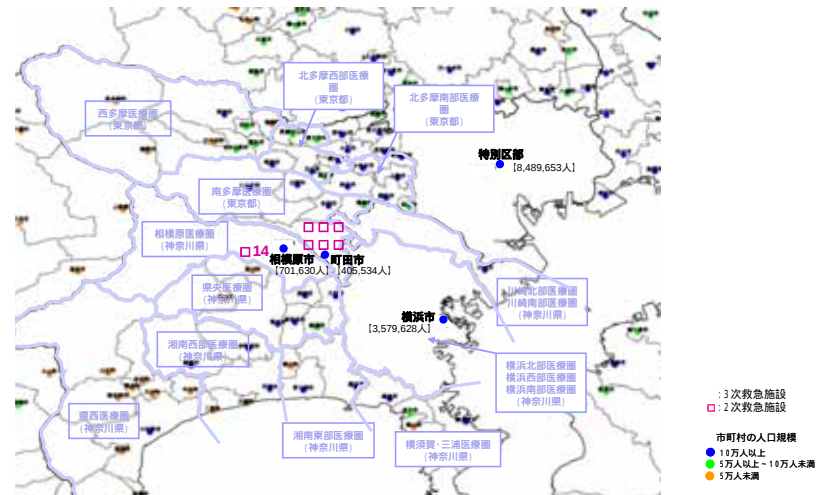


教育機関と通学流動

東京都特別区部を中心とする通学流動
相模原市、町田市を中心とする通学流動もある

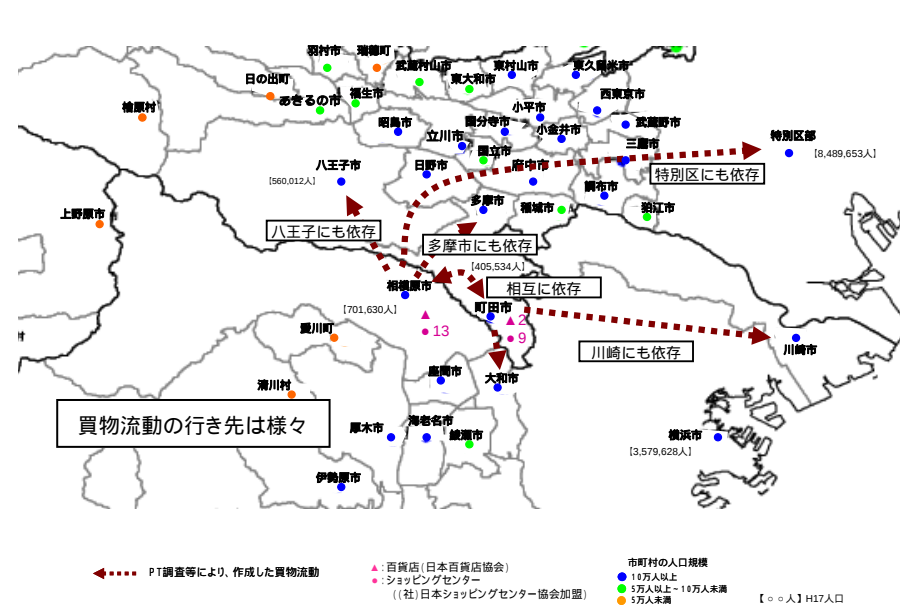


医療機関、医療圏と人の流動



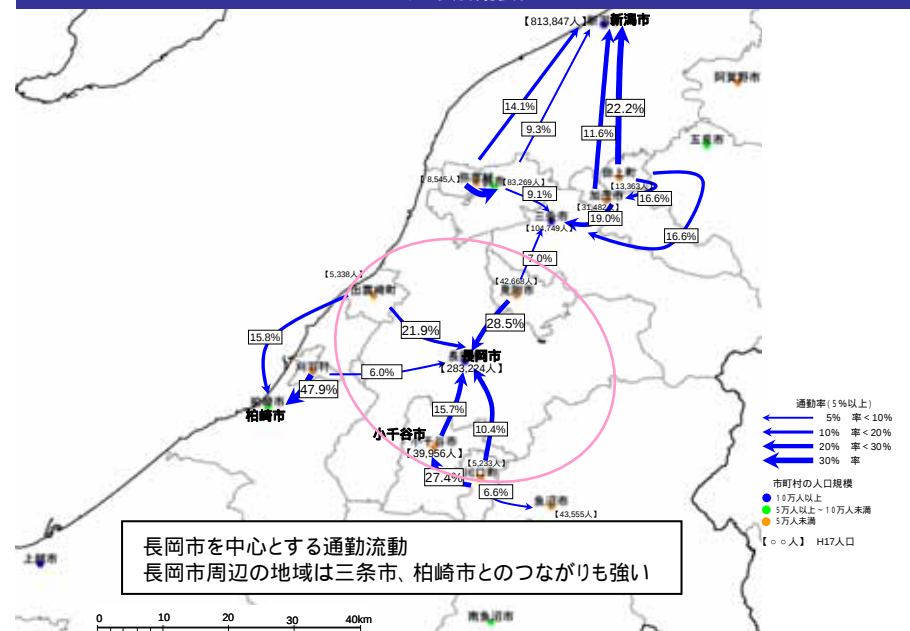
相模原市、町田市は都県が異なるため、別の医療圏に所属

商業施設と買物流動(買回品)

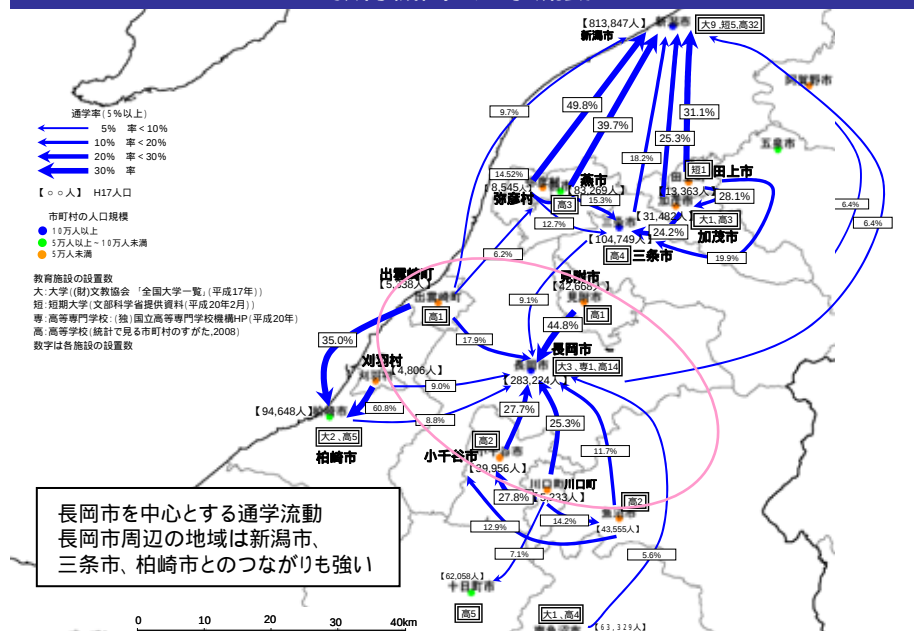


長岡地域の現況 ～ 隣接都市とのつながりを有する長岡市中心の地域～

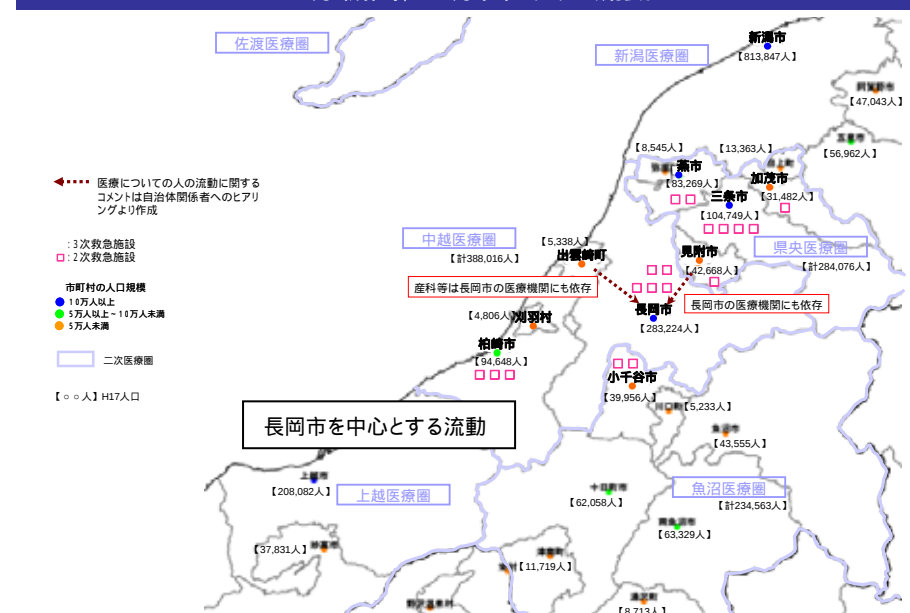
通勤流動



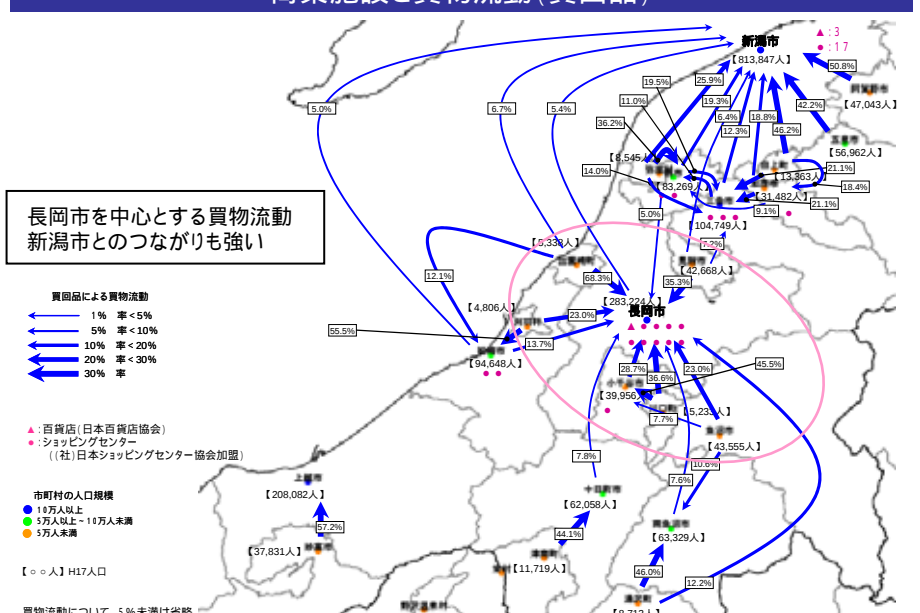
教育機関と通学流動



医療機関、医療圏と人の流動

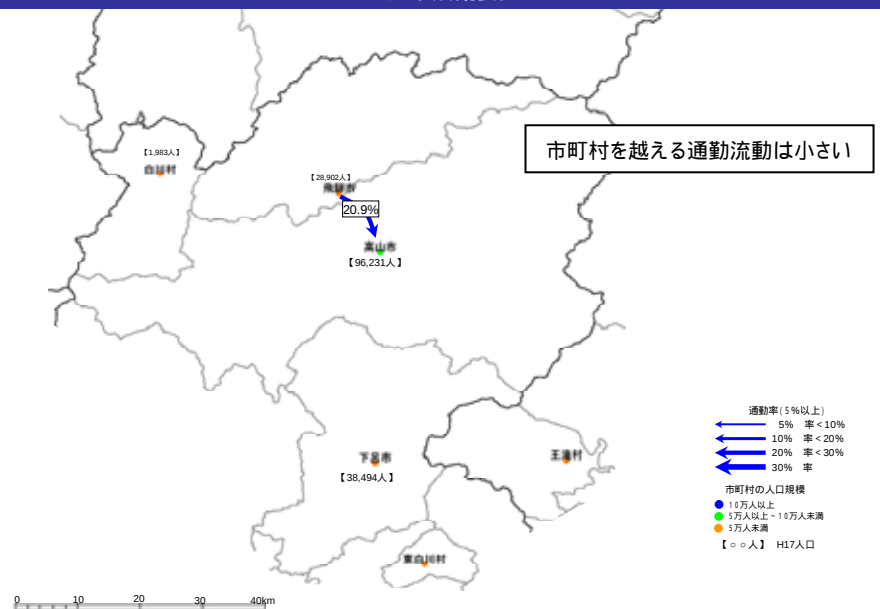


商業施設と買物流動(買回品)



高山地域の現況 ~ 合併で広域化した行政区域に広大な中山間地域を抱える地域 ~

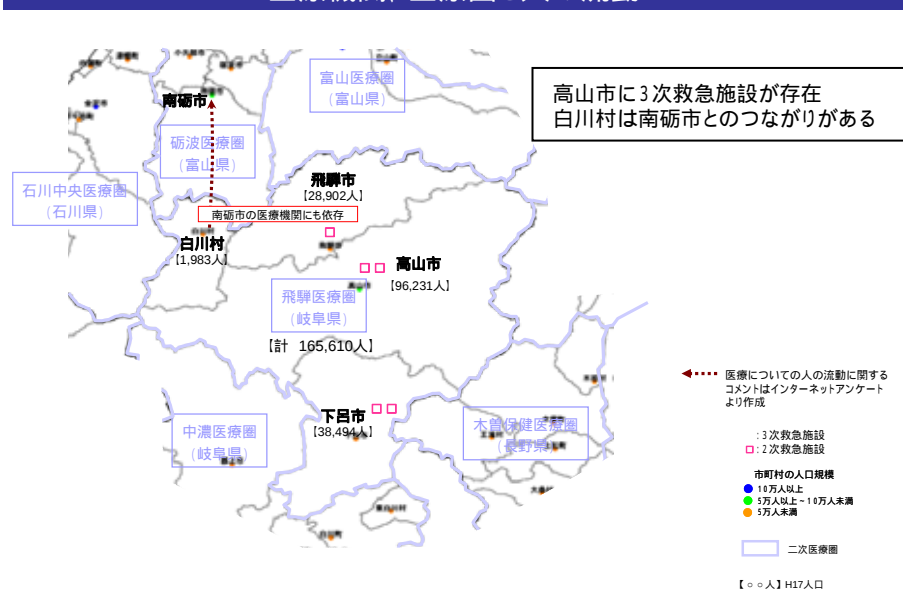
通勤流動



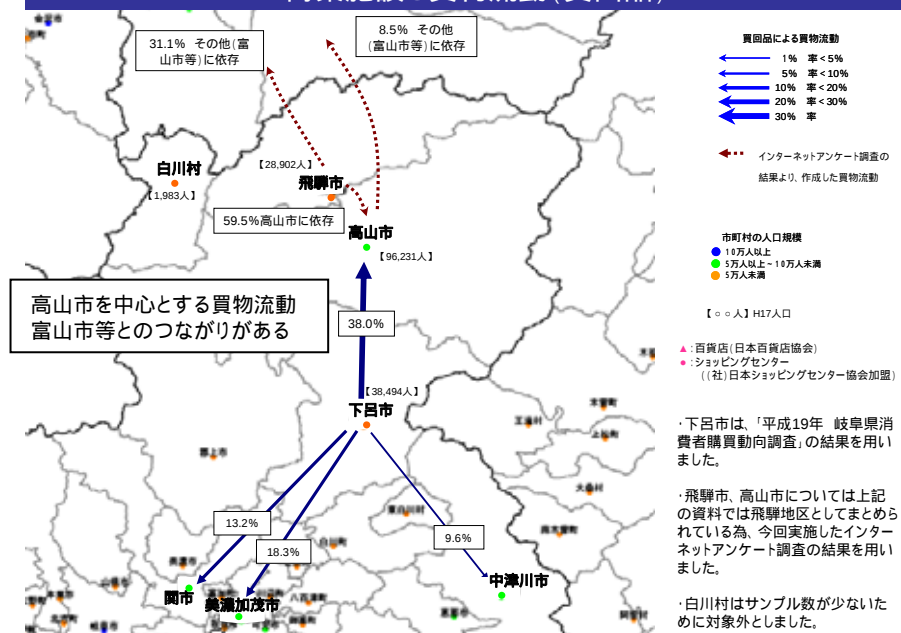
教育機関と通学流動



医療機関、医療圏と人の流動

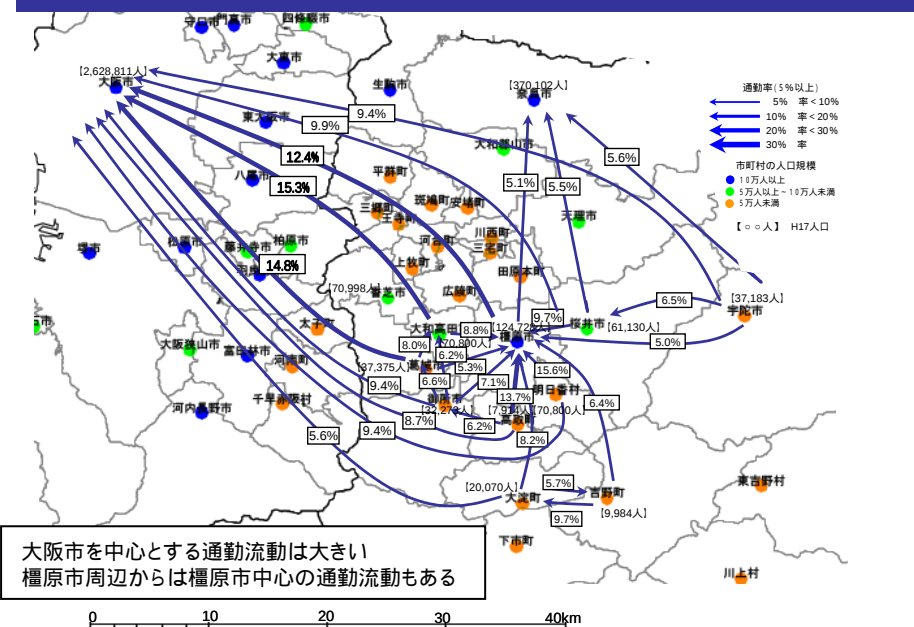


商業施設と買物流動(買回品)

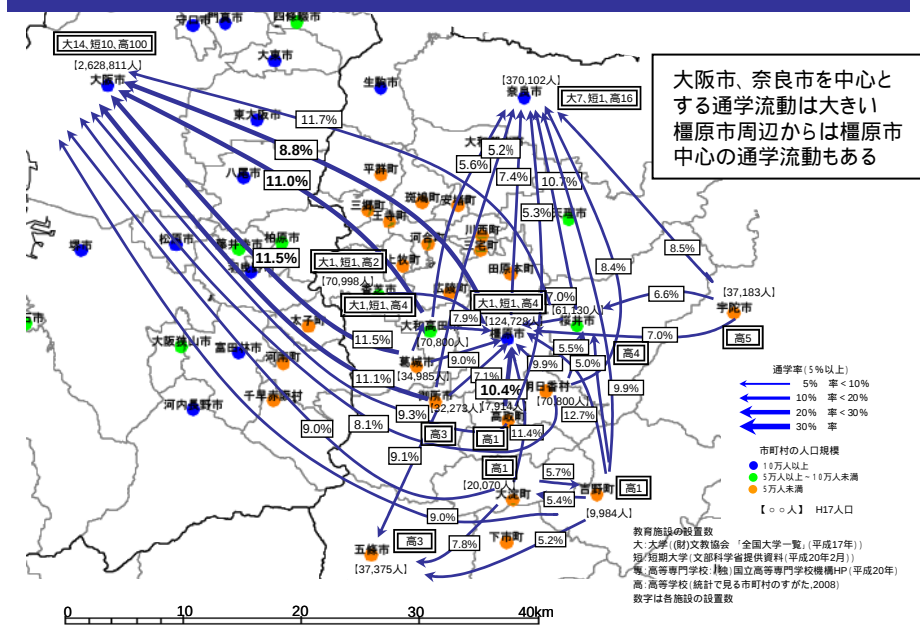


橿原地域の現況 ~ 大都市と中山間地とのつながりを併せ持つ地域 ~

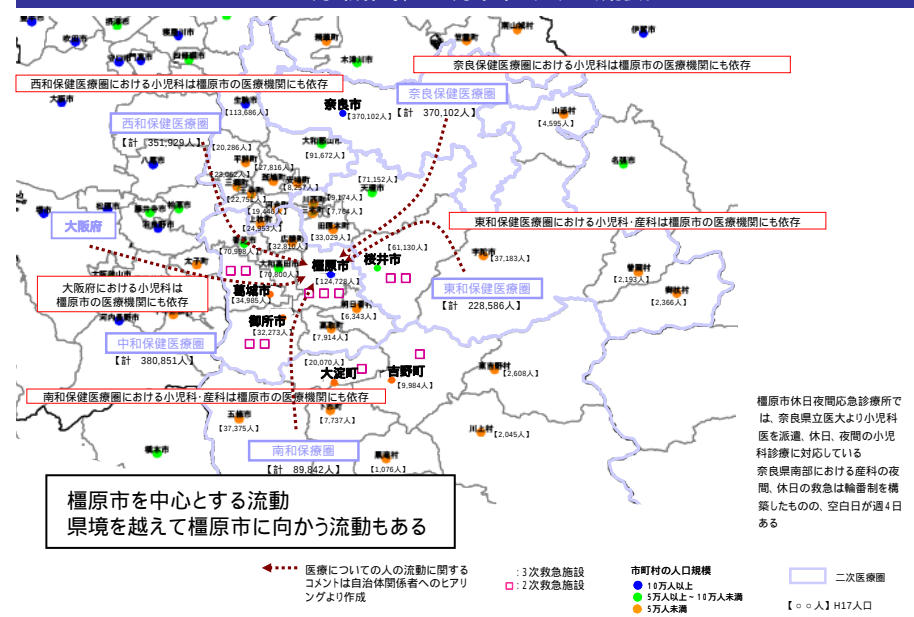
通勤流動



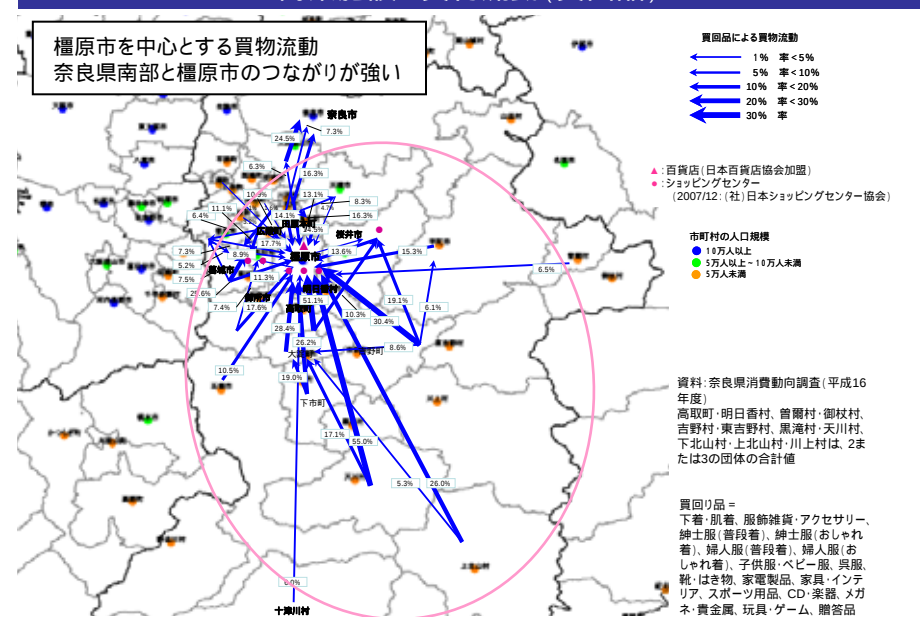
教育機関と通学流動



医療機関、医療圏と人の流動



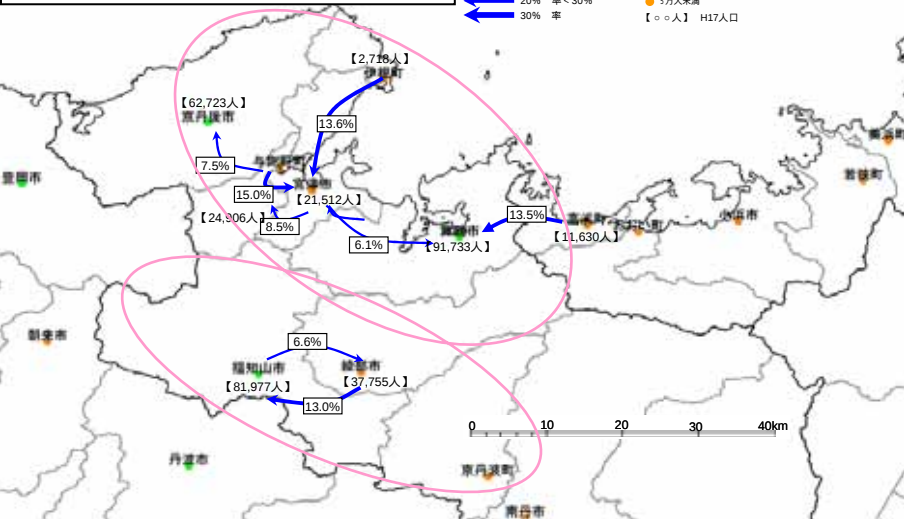
商業施設と買物流動(買回品)



舞鶴・京丹後・宮津地域の現況 ～生活機能によって中心が異なる地域～

通勤流動

通勤流動の行き先に中心性が明確でない
舞鶴市、福知山市、綾部市、宮津市への通勤流動が比較的大きい

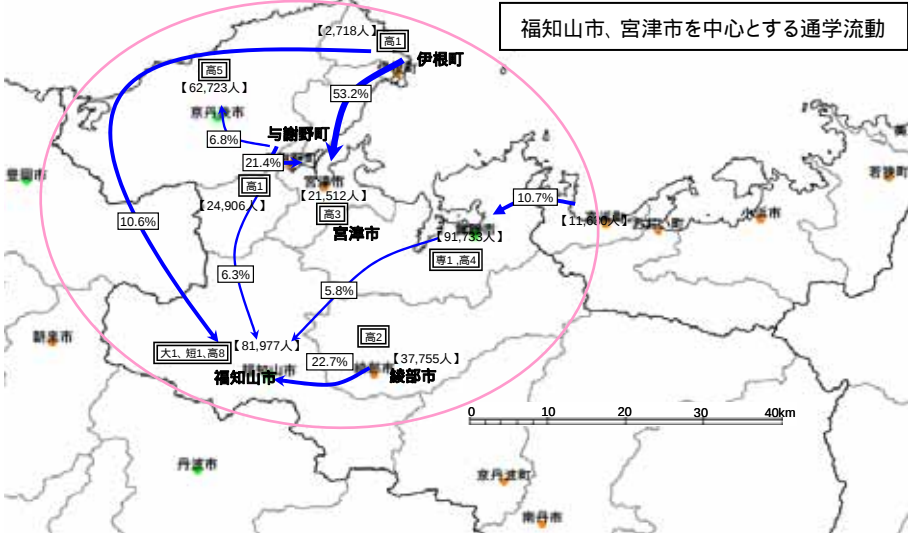


教育機関と通学流動

通学率(5%以上)
5% 率<10%
10% 率<20%
20% 率<30%
30% 率

市町村の人口規模
● 10万人以上
● 5万人以上～10万人未満
● 5万人未満
【○○人】 H17人口

教育施設の設置数
大・大学(財)文教協会「全国大学一覧」(平成17年)
短・短期大学(文部科学省提供資料(平成20年2月))
専・高等専門学校(独)国立高等専門学校機構・H(平成20年)
高・高等学校(統計で見る市町村のすがた,2008)
数字は各施設の設置数



医療機関、医療圏と人の流動

舞鶴・京丹後・宮津地域の5市町のうち、4市町で丹後医療圏を形成しているが、舞鶴市のみが別の医療圏(中丹医療圏)に属している。

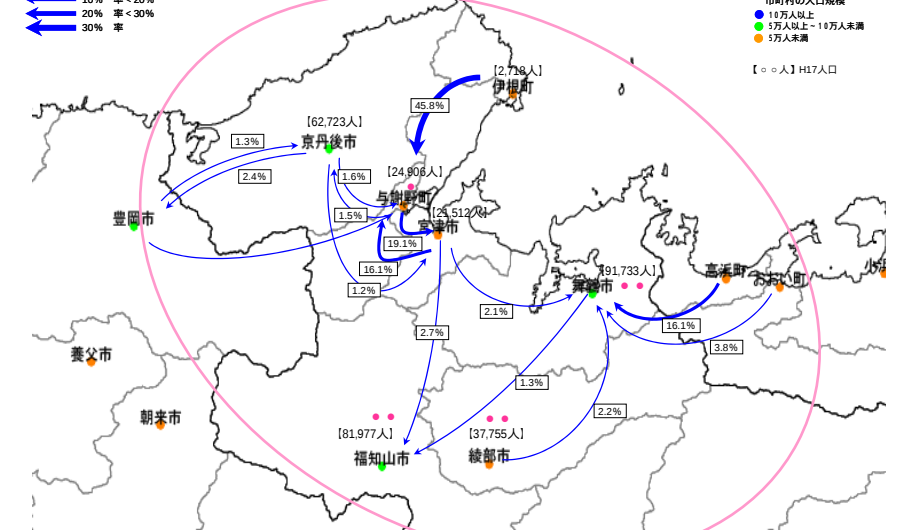


商業施設と買物流動(買回品)

H17センサスによる家事・買物流動
1% 率<5%
5% 率<10%
10% 率<20%
20% 率<30%
30% 率

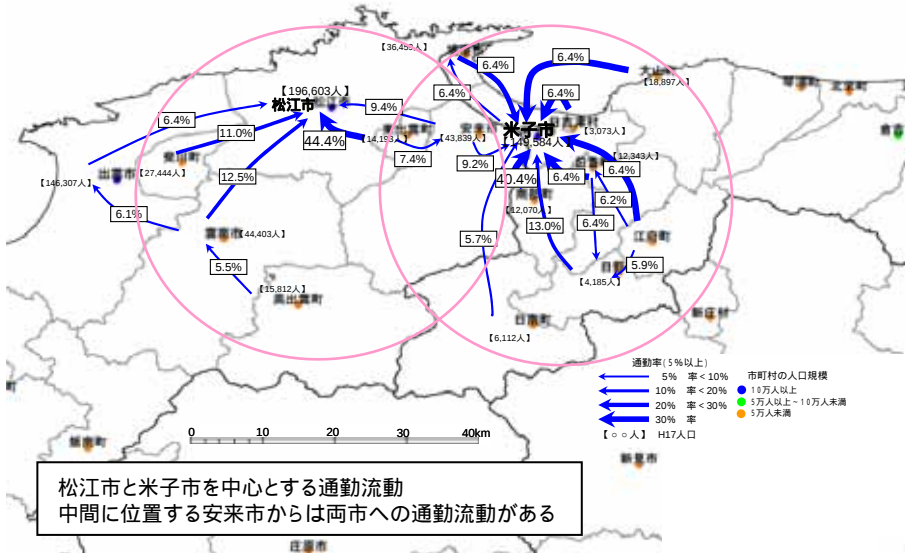
市町村の人口規模
● 10万人以上
● 5万人以上～10万人未満
● 5万人未満
【○○人】 H17人口

● 百貨店(日本百貨店協会)
● ショッピングセンター
(社)日本ショッピングセンター協会加盟

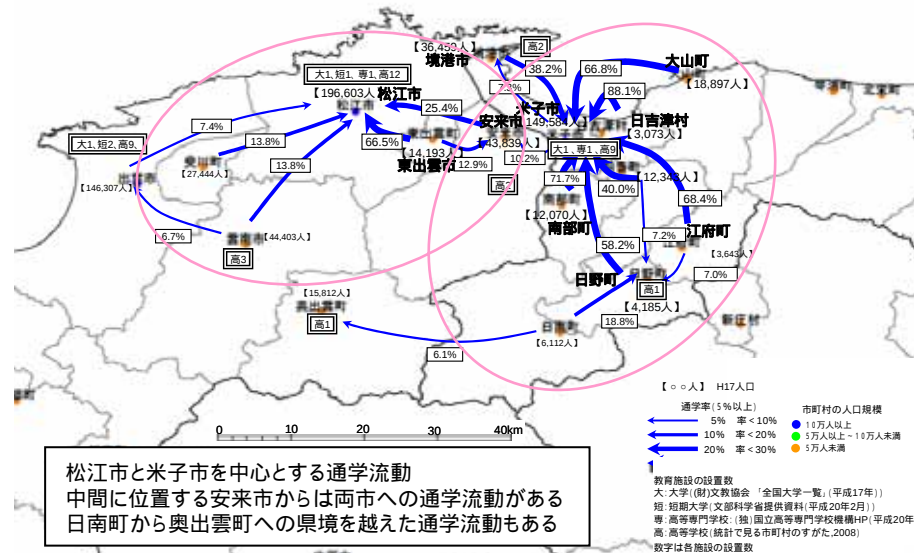


松江・米子地域の現況 ～松江市、米子市と2つの中心を持つ地域～

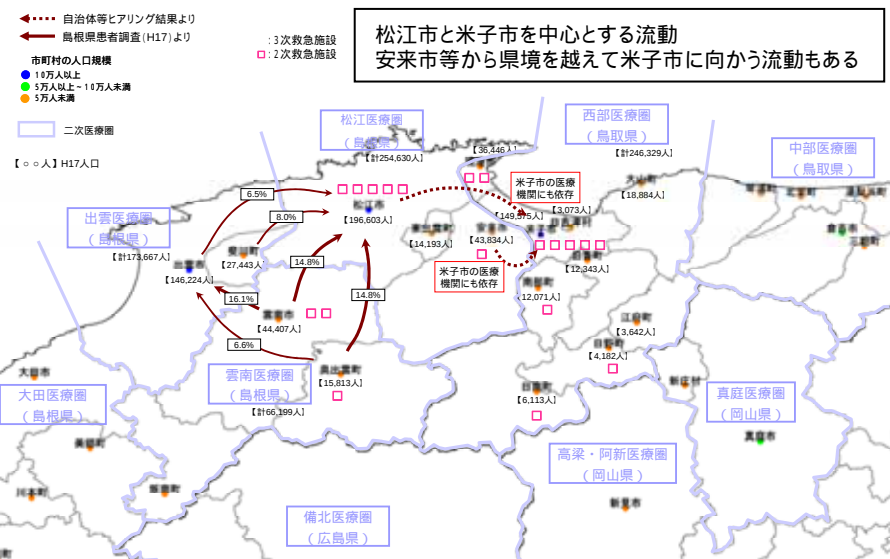
通勤流動



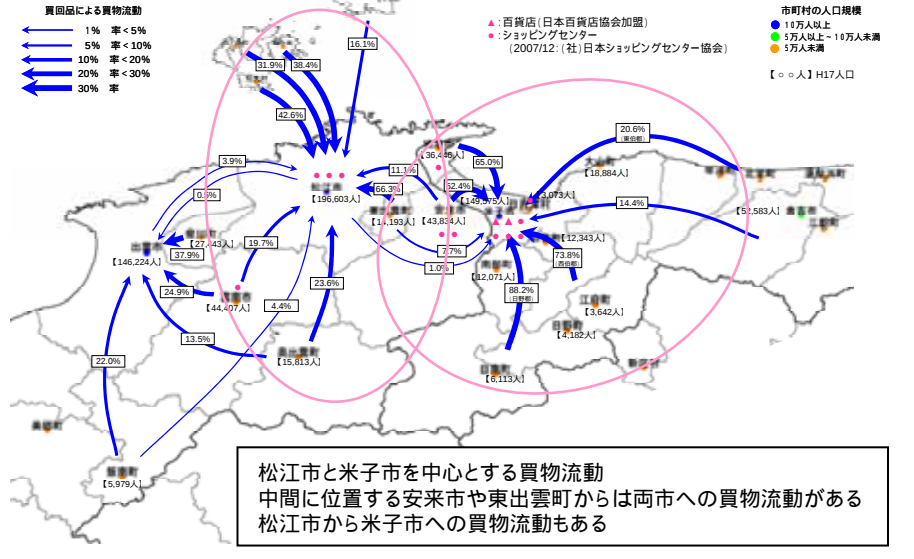
教育機関と通学流動



医療機関、医療圏と人の流動



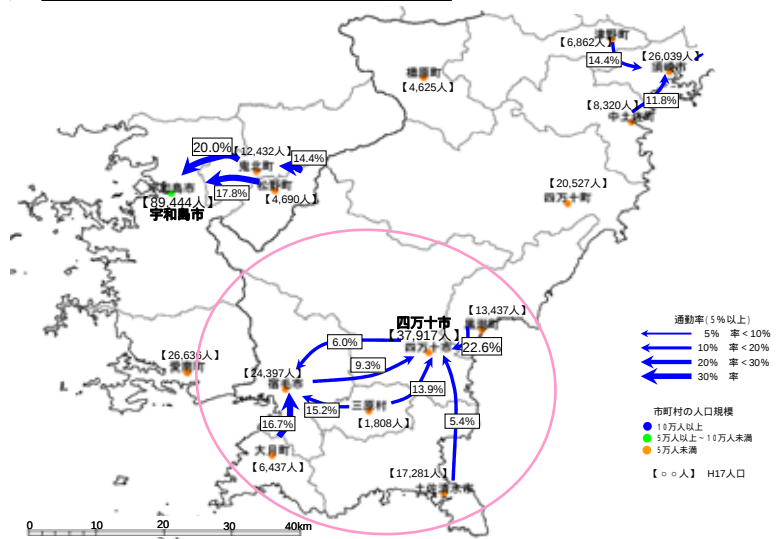
商業施設と買物流動(買回品)



四万十地域の現況 ~ 四万十市、宿毛市の2つの中心を持ち隣接都市と連携する地域 ~

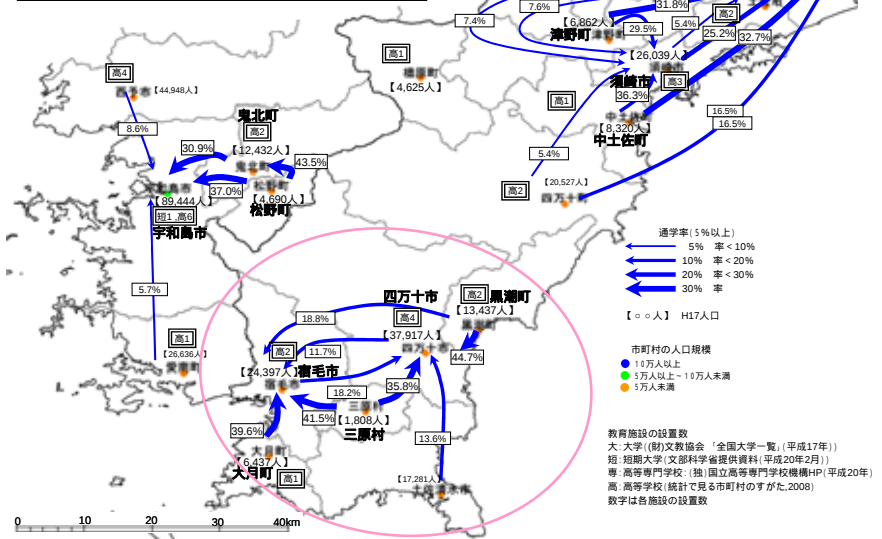
通勤流動

四万十市と宿毛市を中心とする通勤流動
通勤流動のまとまりが独立して存在



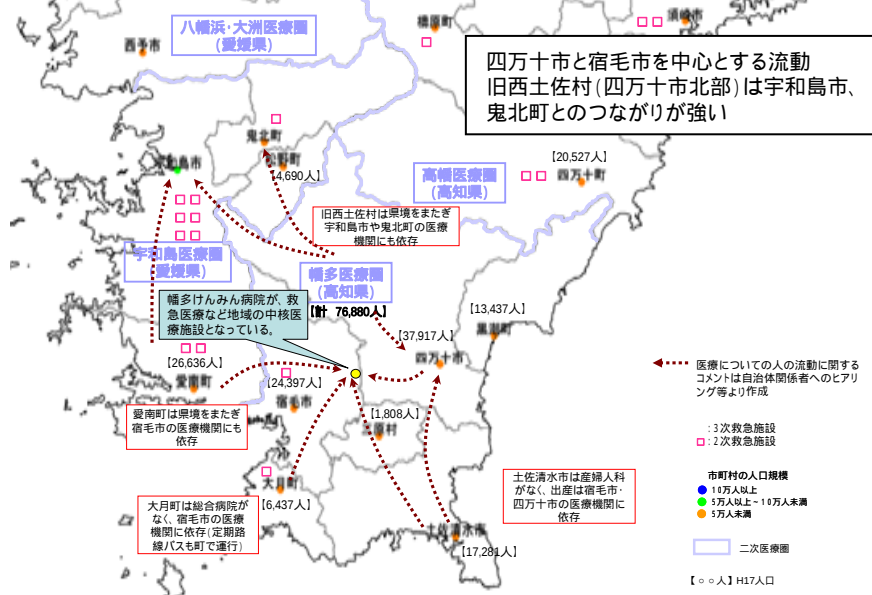
教育機関と通学流動

四万十市と宿毛市を中心とする通学流動
通学流動のまとまりが独立して存在



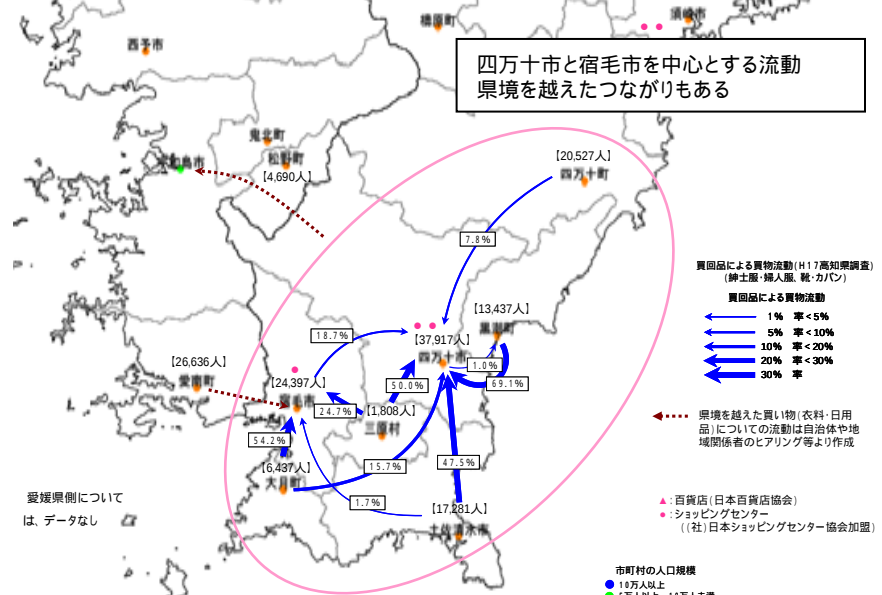
医療機関、医療圏と人の流動

四万十市と宿毛市を中心とする流動
旧西土佐村(四万十市北部)は宇和島市、鬼北町とのつながり強い



商業施設と買物流動(買回品)

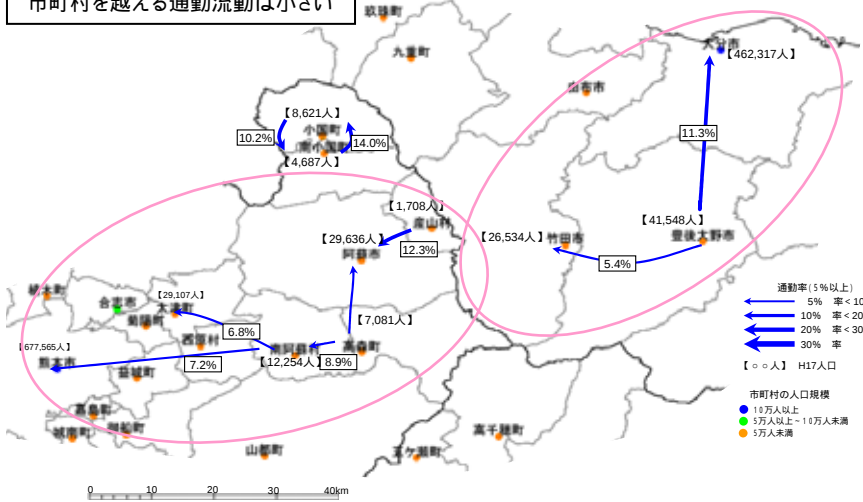
四万十市と宿毛市を中心とする流動
県境を越えたつながりもある



阿蘇・竹田地域の現況 ～熊本市、大分市にそれぞれつながる2つの地域の連携～

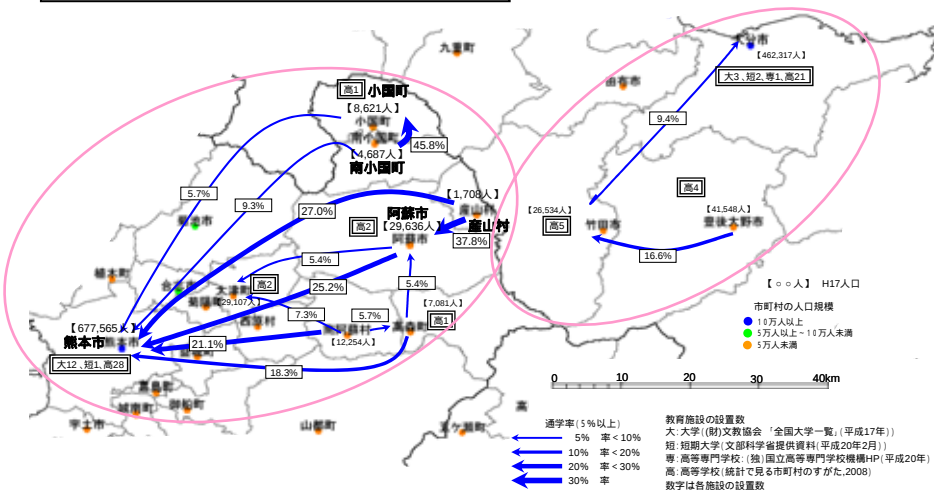
通勤流動

市町村を越える通勤流動は小さい



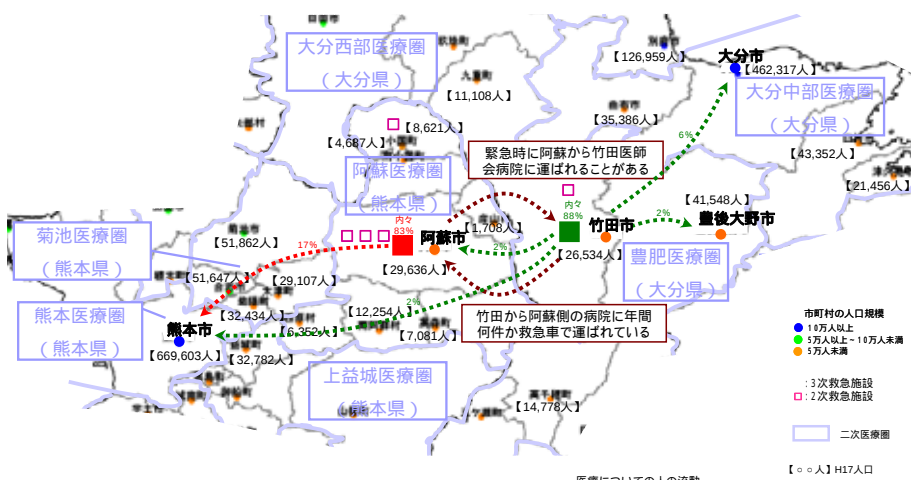
教育機関と通学流動

熊本市を中心とする通学流動は大きい
阿蘇市周辺からは阿蘇市への通学流動もある



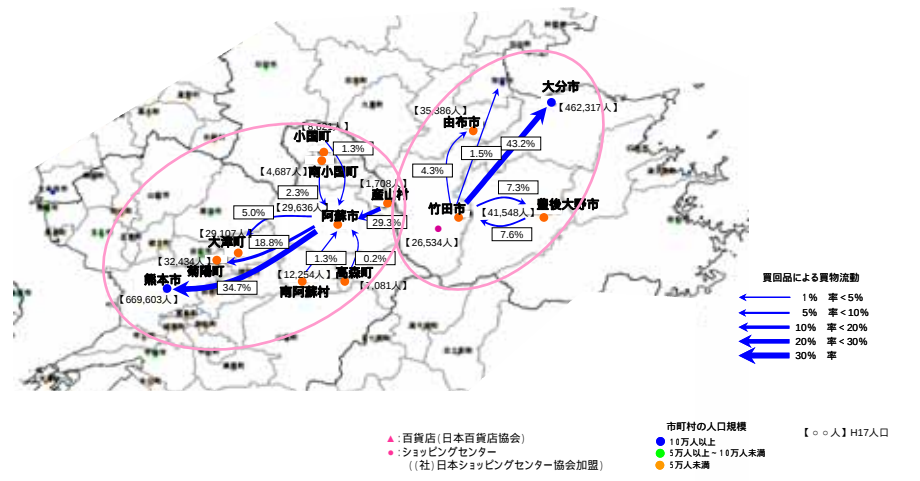
医療機関、医療圏と人の流動

県境を越えた阿蘇市と竹田市のつながりがある



商業施設と買物流動(買回品)

熊本市、大分市を中心とする買物流動は大きい
阿蘇市周辺からは阿蘇市への買物流動もある



医療についての人の流動

- 阿蘇市住民アンケート調査(通院目的: 2.3人の内訳)
- 竹田市住民アンケート調査(通院目的: 4.9人の内訳)
- ヒアリング結果より